

経営学部新学部長からメッセージ

総合的改革に取り組む



経営学部長 廣田 正義

大学の真の発展は、各教員の現代的意味における研究の質に、長期的には大きく依存すると思われま

改革すべき点が多々あります。理科大学の真の進展は、各学部学科が教育研究に

新任教員 43氏紹介

(敬称略)

①最終学歴 ②前歴 ③担当科目 ④学位

【理学部第一部】



教授 八並 光俊

①広島大学教育学部教育学研究科博士課程後期(教育社会学専攻)退学②兵庫教育大学大学院学校教育研究科生徒指導講座助教授③教職概論、生活指導④教育学修士



(むらかみ・みつひこ)

①九州大学大学院人間環境学府行動システム専攻博士後期課程単位取得後退学②国立スポーツ科学センター研究員③体育実技、体育理論④教育学修士

◆数学科 教授 岡 睦雄 (おか・むつお) ①東京大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了②



助教授 田所 誠

東京都立大学大学院理学研究科教授③代数学、数学研究、代数学特論等④Doctor of Edu. 理学博士



(たどころ・まこと)

①九州大学大学院理学研究科化学専攻博士後期課程修了②大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻助教③無機化学、一般化学実験④理学博士



(いまい・ひろひこ)

①東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻博士課程中退②科学技術振興機構戦略的基礎研究推進事業研究員③物理化学Ⅰ及びⅡ演習④物理化学実験④博士(工学)

◆応用物理学 教授 石井 行弘 (いしゐ・ぎょうこう) ①早稲田大学大学院理工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了②岩手大学大学院工学研究科フロンティア



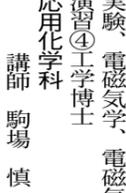
(いまい・ゆきひこ)

①東京理科大学大学院理学研究科物理学専攻修士課程修了②職業能力開発総合大学校電子システム工学科教授③応用物理学実験、光物理解④工学博士



(おかむら・そういちろう)

①東京理科大学大学院工学研究科電気工学専攻博士後期課程修了②奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学実験 電磁気学、電磁気学演習④工学博士



(いまむら・そういちろう)

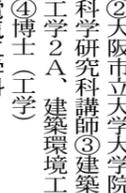
①東京工業大学大学院電子物理学専攻博士課程修了②NTTフォトリソグラフィ研究所③コンピュータ基礎、通信・情報基礎、無線通信用LSI等④工学博士

◆理工学部 助教授 岩下 登志也 (いわした・としや) ①大阪大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)



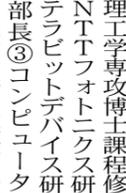
(ながい・たつひろ)

①東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了②大阪市立大学大学院生学科学研究科講師③建築環境工学ⅡA、建築環境工学Ⅳ④博士(工学)



(むらかみ・まさひろ)

①東京工業大学大学院電子物理学専攻博士課程修了②高エネルギー加速器研究機構教授③物理学実験Ⅲ、物理学特別講義B④理学博士



(いむら・まほろ)

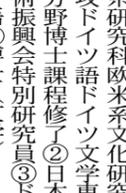
①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)

◆建築学 教授 長井 達夫 (ながい・たつお) ①大阪大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)



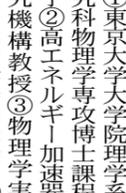
(あいざわ・ひろゆき)

①東京大学大学院人文社会学系研究科欧米系文化研究専攻ドイッ語ドイッ文学専門分野博士課程修了②日本学術振興会特別研究員③ドイッ語④博士(文学)



(ちば・まほろ)

①東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了②高エネルギー加速器研究機構教授③物理学実験Ⅲ、物理学特別講義B④理学博士



(いむら・まほろ)

①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)

◆経営学 教授 山縣 恭造 (やまがはら・きょうぞう) ①慶應義塾大学大学院工学

6先生に名誉教授称号



森本弘幸先生 二馬秀夫先生



内田登喜子先生 巻田泰治先生

東京理科大学は、永年にわたり本学の教育・研究の発展に尽力され、多くの功績を挙げられた六先生に名誉教授の称号を授与した。(敬称略) 平成16年12月9日付

二馬 秀夫 78歳 理学部第一部教授を歴任。専門はX線回折に

巻田 泰治 79歳 理学部第一部教授 東京工業大学大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程修了

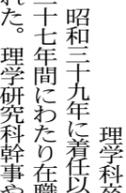
山縣 恭造 84歳 理学部第一部教授 東北帝国大学理学部物理学専攻卒業

内田 登喜子 73歳 元理工学部教授 成化学コース卒業

水野 重樹 元助教 理工学部応用生物科学科 平成十七年一月十一日逝去

満期退学 昭和四十二年に在職以来、三十七年間に在職した。六十八歳。中井 正元教授 (薬学部薬学科) 平成十七年一月十五日逝去

悼



(やまぐち・まほろ)

①東京工業大学大学院電子物理学専攻博士課程修了②高エネルギー加速器研究機構教授③物理学実験Ⅲ、物理学特別講義B④理学博士



(やまぐち・まほろ)

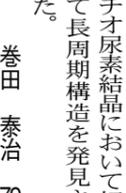
①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)



(やまぐち・まほろ)

①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)

◆経営学 教授 古川 昭雄 (ふるかわ・あきお) ①東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士後期課程修了②日本電気株式会社システムフラットフォーム



(やまぐち・まほろ)

①東京工業大学大学院情報理工学専攻後期博士課程単位取得後退学②成蹊大学工学部経営・情報工学科助手③生産管理Ⅰ、作業研究及び演習、経営工学実験A等④博士(工学)



(やまぐち・まほろ)

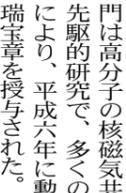
①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)



(やまぐち・まほろ)

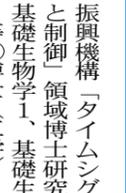
①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)

◆基礎工学部 教授 橋本 茂樹 (はしもと・しげき) ①東京理科大学大学院基礎工学研究科生物学専攻博士後期課程中退②科学技術



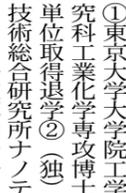
(やまぐち・まほろ)

振興機構「タイムシグナルと制御」領域博士研究員③基礎生物学Ⅰ、基礎生物学Ⅱ等④博士(工学)



(やまぐち・まほろ)

①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)



(やまぐち・まほろ)

①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)

◆経営学 教授 高井 文子 (たかい・あやこ) ①東京大学大学院経済学研究科企業・市場専攻博士課



(やまぐち・まほろ)

①一橋大学大学院商学研究科博士課程修了②無し③財務管理論Ⅰ・Ⅱ、企業論、ベンチャービジネス論等④博士(商学)



(やまぐち・まほろ)

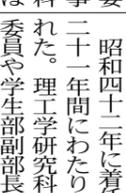
①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)



(やまぐち・まほろ)

①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)

◆情報科学教育 教授 鈴木 雄一 (すずき・ゆういち) ①東京大学大学院工学系研究科先端工学専攻博士課程修了②武蔵工業大学環境情報学専攻教授③博士(工学)



(やまぐち・まほろ)

課程後期修了②愛知学院大学経営学部国際経営学科専任講師③国際経営学、人的資源管理、組織行動④博士(学術)



(やまぐち・まほろ)

①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)



(やまぐち・まほろ)

①東京理科大学大学院基礎工学研究科数理系専攻博士後期課程修了②明星大学大学院情報科学研究科助教授③数理統計学、微積分学演習④博士(理学)

◆情報科学教育 教授 鈴木 雄一 (すずき・ゆういち) ①東京大学大学院工学系研究科先端工学専攻博士課程修了②武蔵工業大学環境情報学専攻教授③博士(工学)

*次頁につづく

新任教員紹介 つづき

①最終学歴 ②前歴
③担当科目 ④学位

総合科学技術経営
研究科知的財産戦略
略専攻(MIP)

教授 石田 正泰



(いしだ・まさやす)
①中央大学大学院法学研究
科民法学専攻博士後期課程
単位取得の出版印刷(株)専務
取締役法務本部長兼広報本
部長③競争政策と知財、知
財契約・ドラフティング、
知財特許E等④商学修
士、法学修士



(いしだ・まさやす)
①専修大学経済学研究科経
済学専攻修士課程修了②(株)
ミレアホールディングス

法務リスク管理部マネー
ジャー③知財経済論 知財評
価、知財プロジェクト研究
④修士(計量経済学)

教授 生越 由美



(なかせ・ゆみ)
①東京理科大学薬学部製薬
学科卒業②政策研究大学院
大学助教授③知的財産法
1. 知財政策、知財特許論
C等④薬学士

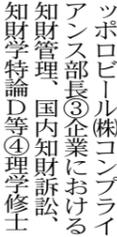


(さわい・たかし)
①北海道大学大学院工学研
究科原子工学専攻修士課程
修了②NITAアドバンステ
クノジ(株)知的財産事業本
部長③知財科学概論、知財
プロジェクト研究④工学修
士

教授 手塚 敏廣

①東京理科大学理学研究科
化学専攻修士課程修了②サ
ッポロビール(株)コンプライ
アンス部長③企業における
知財管理、国内知財訴訟
知財特許論D等④理学修士

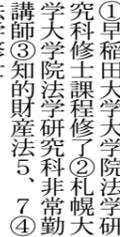
教授 土井 輝生



(つつか・としひろ)
①東京理科大学理学研究科
化学専攻修士課程修了②サ
ッポロビール(株)コンプライ
アンス部長③企業における
知財管理、国内知財訴訟
知財特許論D等④理学修士



(つつか・としひろ)
①早稲田大学大学院法学研
究科民法学専攻経済法専
攻修士課程修了②日本技術
貿易(株)IP総研主任研究員
③標準化戦略、知財プロジ
ェクト研究④修士(法学)



(つつか・としひろ)
①早稲田大学大学院法学研
究科民法学専攻経済法専
攻修士課程修了②日本技術
貿易(株)IP総研主任研究員
③標準化戦略、知財プロジ
ェクト研究④修士(法学)



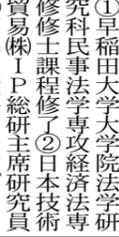
(つつか・としひろ)
①早稲田大学大学院法学研
究科民法学専攻経済法専
攻修士課程修了②日本技術
貿易(株)IP総研主任研究員
③標準化戦略、知財プロジ
ェクト研究④修士(法学)

教授 馬場 錬成

産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



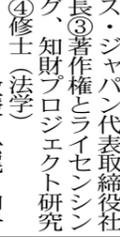
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



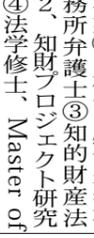
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一

産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



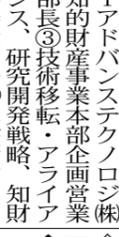
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一

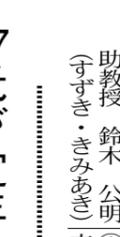
産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



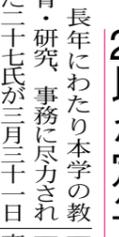
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



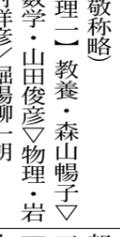
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



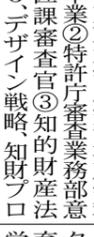
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



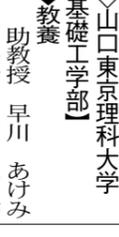
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一

産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



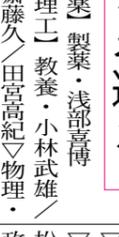
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



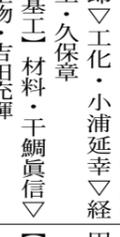
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一

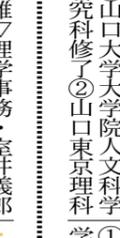
産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



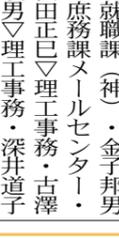
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



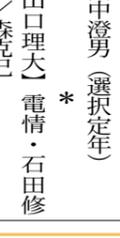
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



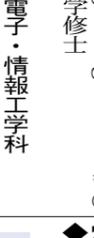
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一

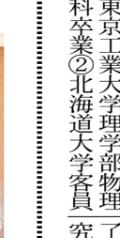
産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一

産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



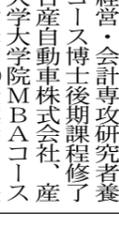
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一

産法4、6④法学修士
教授 皆川 長三郎



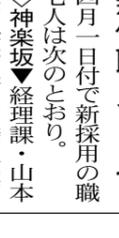
(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士



(みながわ・ちよさぶろう)
①東北大学大学院工学研究
科電子工学専攻修了②NTT
アドバンステクノロジ(株)
知的財産事業本部企画営業
部長③技術移転・アライア
ンス、研究開発戦略、知財
学特許論F等④工学修士

教授 丸島 儀一



3日間、多数の参加者を集め開催された国際シンポジウム

10カ国300人を超える参加者

「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」
プログラム 第2回国際シンポジウム

三月七日(月)から九日(水)の三日間にわたり、東京理科大学二十一世紀COEプログラム「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」第2回国際シンポジウムが開催された。本シンポジウムは「21世紀の火災科学」研究・「教育・技術」の新たな展開を主題とし、海外からの来賓講演者を含め、国内外の第一線研究者、教育、行政、実務関係者等が参加した。3日間、多数の参加者を集め開催された国際シンポジウム

初日は、赤坂プリンスホテル・クリスタルパレスで、京理科大学二十一世紀COEプログラム「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」第2回国際シンポジウムが開催された。本シンポジウムは「21世紀の火災科学」研究・「教育・技術」の新たな展開を主題とし、海外からの来賓講演者を含め、国内外の第一線研究者、教育、行政、実務関係者等が参加した。3日間、多数の参加者を集め開催された国際シンポジウム

二日目は、会場を本学・野田キャンパス・薬学部ホールに移し、防火技術者協会(SFPE)の米国本部会長、日本、韓国、香港の各支部長等から「火災安全工学技術の社会に浸透させるためには？」をテーマに、実社会における建築防火技術や職能の確立にむけての活動などが紹介された。また、本学を中心とした更に強固な国際的研究・教育ネットワークの構築に向け活動する必要性を強く感じたシンポジウムでもあった。

27氏が定年をお迎え

長年にわたり本学の教育・研究、事務に尽力された二十七氏が三月三十一日付で定年を迎えられた。

敬称略

〔理一〕 教養・森山暢子
〔理二〕 山田俊彦▽物理・岩村祥彦▽堀場一郎
〔工一〕 電気・関清三▽水町芳彦▽唐島照介

〔基一〕 製薬・浅部喜博
〔理一〕 教養・小林武雄
〔理二〕 齋藤久▽田宮高紀▽物理・石田興太郎▽建築・野村設郎▽工化・小浦延幸▽経工・久保章

〔基一〕 材料・千鯛眞信▽〔山口理大〕 電情・石田修一▽森克己

〔諏訪理大〕 電子・谷辰夫

安雄▽理工学務・室井義郎
▽就職課(神)・金子邦男
▽庶務課メールセンター・松田正巳▽理工学務・古澤政男▽理工学務・深井道子
〔選定定年〕▽久喜事務・田中澄男(選定定年)

〔山口理大〕 電情・石田修一▽森克己

〔諏訪理大〕 電子・谷辰夫



(前左)加藤さん、近藤さん、千葉さん、高橋さん
(後左)坂口さん、山本さん、小林さん

新任職員7氏

四月一日付で新採用の職員七人は次のとおり。

▽神楽坂▽経理課・山本雄二▽学務課・高橋里美▽工学事務課・近藤真由子▽事務システム課・加藤麻衣▽野田▽理工学務課(機械工作工場)・小林操▽就職課・千葉貴子
▽久喜事務課・坂口輝幸

「全国入試」導入好影響

平成17年度 入試まとめ

表2. <平成17年度東京理科大学学部別志願者数>

学部	A方式(人)	B方式(人)	合計(人)
理学部第一部	2,905	6,730	9,635
工学部第一部	2,054	7,081	9,135
薬学部	1,484	2,240	3,724
理工学部	4,685	10,962	15,647
基礎工学部	826	2,225	3,051
経営学部	1,344	1,433	2,777
昼間学部合計	13,298	30,671	43,969
理学部第二部	569	717	1,286
工学部第二部	205	438	643
夜間学部計	774	1,155	1,929
大学合計	14,072	31,826	45,898

表1. <平成17年度私立入試志願者数>

1	早稲田大学	107,323
2	立命館大学	89,387
3	明治大学	76,515
4	日本大学	76,162
5	法政大学	73,343
6	法政大学	66,205
7	法政大学	65,531
8	法政大学	52,844
9	法政大学	46,646
10	法政大学	45,898
11	法政大学	45,786
12	法政大学	42,250
13	法政大学	41,103
14	法政大学	38,271
15	法政大学	36,869

東京理科大学のB方式入試(本学独自試験)が二月三日の経営学部を皮切りに試センター試験利用を合わせて、四万五千八百九十八人(前年度比二千八百五十二人)減少した。A方式の志願者数は一万四千七百九十二人(前年度比六百九十四人)減少した。B方式の志願者数は三万一千八百二十六人(前年度比四千四百四十四人)減少した。A方式の志願者数は前年度比四・四％減少であった。本学の志願者数は昨年度同様、十八歳人口の減少、理工系人気の低下が影響したようだが、減少幅は小さかった。理工系志願者が大きく減少している中で、本学は健闘したといえる。志願者が減少した中、A方式では経営学部、B方式では工学部第一部、基礎工学部の志願者が増加。経営学部のA方式の増加は全国的な経済・経営学系学部の増加傾向を反映している。また、工学部第一部・基礎工学部が、全国五都市(札幌・仙台・名古屋・大阪・福岡)でも受験できるようになったことが考えられる。全国入試の導入は、受験生にとってメリットがあり、五都市周辺地域の志願者が増加した。志願者が増加している他、大学は学部増設や



野田のカナル会館のバース



神楽坂・九段校舎改修、野田・カナル会館建設 スタート

創立百二十五周年記念キャンパス再構築計画のひとつ、神楽坂・九段校舎の改修工事と、野田・カナル会館の新築工事がスタートしました。概要と特徴は次のとおり。

九段校舎 千代田区九段(靖国神社・武道館前)旧都市基盤整備公団本社の土地と建物を取得し、九段校舎として工学部1、2部(工業化学科を除く)が利用します。建物規模は鉄筋コンクリート造・鉄骨造、地下二階、地上七階建て、延べ面積約一六〇〇〇㎡。十一月末には完成し、平成十八年四月からの使用を目指しています。

カナル会館 カナル会館は、野田地区再構築の一環として一階館の東側に計画、野田地区の福利厚生機能と野田キャンパス全体のメインアプローチを再整備することが目的です。地上三階建て、一階に約六百席の食堂ホールと厨房を配し、二階には約百二十席の学生ホール。そして、三階には、約百八十人収容の会議室と展示資料室が設置される予定です。同会館の建設によって、学生生活環境の向上とサービスの充実、立地の特性を活かした野田キャンパスの新しい顔づくりが可能になります。

平成17年度 資金収支予算

[平成17年4月1日から平成18年3月31日まで] (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	17年度予算額	科目	17年度予算額
学生生徒等納付金収入	25,581,594	人件費支出	15,975,407
授業料収入	16,700,055	教員人件費支出	10,133,152
入学料収入	2,606,470	職員人件費支出	4,646,635
実験実習料収入	1,631,489	役員報酬支出	110,710
施設設備資金収入	4,643,580	退職金支出	1,084,910
手数料収入	1,518,036	教育研究経費支出	8,860,453
入学検定料収入	1,469,036	消耗品費支出	1,950,210
試験料収入	9,000	光熱水費支出	1,194,207
証明手数料収入	16,000	旅費交通費支出	431,969
大学入試センター試験実施手数料収入	24,000	奨学金支出	180,503
寄付金収入	1,802,300	福利厚生費支出	84,428
特別寄付金収入	1,500,000	通信運搬費支出	224,584
一般寄付金収入	302,300	印刷費支出	316,298
補助金収入	3,829,923	広告費支出	11,363
国庫補助金収入	3,810,867	会議費支出	11,941
地方公共団体補助金収入	14,056	賃借料支出	933,138
学術研究振興資金収入	5,000	修繕費支出	315,015
資産運用収入	399,654	諸会費支出	80,061
第3号基本金運用収入	5,000	公租公課支出	299
受取利息・配当金収入	323,600	報酬・委託・手数料支出	1,685,864
施設設備利用収入	71,054	保守料支出	592,527
資産売却収入	40,000	資料費支出	695,390
不動産売却収入	40,000	雑費支出	152,656
事業収入	616,357	管理経費支出	1,827,434
受託事業収入	596,357	諸会費	80,061
知的財産権実施料等収入	20,000	公租公課	299
雑収入	1,083,544	報酬・委託・手数料	1,685,864
入学要項売上収入	18,300	保守料	592,527
私立大学退職金財団交付金収入	835,450	資料費	695,390
その他の雑収入	229,794	雑費	152,656
前受金収入	16,298,153	借入金等返済支出	1,483,160
授業料前受金収入	8,882,257	借入金返済支出	1,483,160
入学金前受金収入	2,595,087	施設関係支出	7,416,508
実験実習料前受金収入	463,856	土地支出	857,000
施設設備資金前受金収入	4,319,646	建物支出	6,355,688
その他の前受金収入	37,307		
その他の収入	3,141,518	構築物支出	79,820
善後地区地区基金等建設費及び10号館建設費引当金等からの収入	1,000,000	建設仮勘定支出	124,000
退職給付引当特定預金からの収入	725,899	設備関係支出	2,349,154
前期末未収入金収入	1,248,976	教育研究用機器備品支出	2,132,141
貸付金回収収入	137,296	その他の機器備品支出	75,630
預り金受入収入	14,677	図書支出	119,503
保証金回収収入	14,670	車輻支出	9,430
資金収入調整勘定	△17,088,195	特許権支出	12,450
期末未収入金	△1,190,454	資産運用支出	2,725,899
前期末前受金	△15,897,741	退職給付引当特定預金への繰入金支出	725,899
前年度繰越支払資金	40,420,436	善後地区基金等建設費引当特定預金への繰入金支出	2,000,000
		その他の支出	1,382,245
		貸付金支払支出	601,100
		前期末未払金支払支出	781,145
		予備費	300,000
		資金支出調整勘定	△1,217,335
		期末未払金	△1,217,335
		次年度繰越支払資金	36,482,075
		収入の部合計	77,643,320
		支出の部合計	77,643,320



DDS研究部門研究センター



火災科学研究センター実験棟

野田キャンパスに新施設3つ誕生

野田キャンパスに続々と新施設が誕生しました。三つの施設の概要は次のとおり。

◆火災科学研究センター実験棟 二〇〇三年度文部科学省COEプログラムに採択された総合研究所火災科学研究部門の「先導的建築火災安全工学研究の推進拠点」研究の実験棟として三月三日に竣工。大学付属の火災科学専用施設の中で



コミュニケーション棟の学生食堂

世界トップレベルの規模と機能をもつ。建築構造部材や材料の耐火性能、可燃物の燃焼性状、煙流動性状などの実験を実施の規模レベルで行うことができるよう設計されている。

◆総合研究所DDS研究部門研究センター DDS研究部門は、肺結核や肺が

平成十七年度予算は、野田キャンパスを再構築した再構築計画を二層推進し、さらなる教育・研究の質の向上を目的に編成を行った。また重点項目として次のことを盛り込むこととした。

一、神楽坂地区再構築計画の一部として次のとおり

二、野田地区再構築計画

①新五号館建築に係わる建築費等(平成十七年度支)

②九段校舎仮移転に伴う九段校舎改修工事費等

③仮移転用教室に係わる賃借料等(平成十七年度支)

④総合研究所先端材料研究部門(継続)

⑤総合研究所DDS研究部門(継続)

⑥ゲノム創薬研究センター(継続)

⑦再生工学研究センター(継続)

⑧ナノサイエンス・テクノロジー研究センター(継続)

三、野田地区再構築計画

①カナル会館建築に係わる建築費等

②研究開発プロジェクトに係る経費を次のとおり予算措置すること。

①計算科学フロンティア研究センター(新規)

②高度光利用グリーン科学技術研究センター(新規)

③ハイテク・リサーチ・センター整備事業/工学研究センター(新規)

④総合研究所先端材料研究部門(継続)

⑤総合研究所DDS研究部門(継続)

⑥ゲノム創薬研究センター(継続)

⑦再生工学研究センター(継続)

⑧ナノサイエンス・テクノロジー研究センター(継続)

の一部分として次のとおり予算措置すること。

⑨産学連携研究推進事業/基礎工学研究科(継続)

四、右記(三)を文部科学省が行う「学術研究高度化推進事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金(特別補助)を予算措置すること。

五、創立百二十五周年記念事業に充当するため総額五十億円を目標に募集している寄付金のうち、平成十七年度目標額を予算措置すること。

①新五号館建築に係わる建築費等(平成十七年度支)

②九段校舎仮移転に伴う九段校舎改修工事費等

③仮移転用教室に係わる賃借料等(平成十七年度支)

④総合研究所先端材料研究部門(継続)

⑤総合研究所DDS研究部門(継続)

⑥ゲノム創薬研究センター(継続)

⑦再生工学研究センター(継続)

⑧ナノサイエンス・テクノロジー研究センター(継続)

⑨産学連携研究推進事業/基礎工学研究科(継続)

四、右記(三)を文部科学省が行う「学術研究高度化推進事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金(特別補助)を予算措置すること。

五、創立百二十五周年記念事業に充当するため総額五十億円を目標に募集している寄付金のうち、平成十七年度目標額を予算措置すること。

①新五号館建築に係わる建築費等(平成十七年度支)

②九段校舎仮移転に伴う九段校舎改修工事費等

③仮移転用教室に係わる賃借料等(平成十七年度支)

④総合研究所先端材料研究部門(継続)

⑤総合研究所DDS研究部門(継続)

⑥ゲノム創薬研究センター(継続)

⑦再生工学研究センター(継続)

⑧ナノサイエンス・テクノロジー研究センター(継続)

⑨産学連携研究推進事業/基礎工学研究科(継続)

四、右記(三)を文部科学省が行う「学術研究高度化推進事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金(特別補助)を予算措置すること。

五、創立百二十五周年記念事業に充当するため総額五十億円を目標に募集している寄付金のうち、平成十七年度目標額を予算措置すること。

①新五号館建築に係わる建築費等(平成十七年度支)

②九段校舎仮移転に伴う九段校舎改修工事費等

③仮移転用教室に係わる賃借料等(平成十七年度支)

④総合研究所先端材料研究部門(継続)

⑤総合研究所DDS研究部門(継続)

⑥ゲノム創薬研究センター(継続)

⑦再生工学研究センター(継続)

⑧ナノサイエンス・テクノロジー研究センター(継続)

平成17年度 消費収支予算

[平成17年4月1日から平成18年3月31日まで] (単位:千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	17年度予算額	科目	17年度予算額
学生生徒等納付金	25,581,594	諸会費	80,061
授業料	16,700,055	公租公課	299
入学料	2,606,470	報酬・委託・手数料	1,685,864
実験実習料	1,631,489	保守料	592,527
施設設備資金	4,643,580	資料費	695,390
手数料	1,518,036	雑費	152,656
入学検定料	1,469,036	減価償却額	4,564,434
試験料	9,000	管理経費	1,917,071
証明手数料	16,000	消耗品費	53,932
大学入試センター試験実施手数料	24,000	光熱水費	109,908
寄付金	2,076,631	旅費交通費	74,905
特別寄付金	1,500,000	福利厚生費	42,883
第3号基本金運用収入	5,000	通信運搬費	42,460
受取利息・配当金	323,600	印刷費	198,277
施設設備利用収入	71,054	保険料	17,657
資産売却収入	40,000	広告費	174,994
不動産売却収入	40,000	賃借料	35,905
事業収入	616,357	渉外・会議費	35,905
受託事業収入	596,357	賃借料	202,237
知的財産権実施料等収入	20,000		
雑収入	1,083,544	修繕費	64,516
入学要項売上収入	18,300	諸会費	12,375
私立大学退職金財団交付金	835,450	公租公課	135,272
その他の雑収入	229,794	報酬・委託・手数料	501,185
前受金収入	16,298,153	保守料	93,445
授業料前受金収入	8,882,257	資料費	37,912
入学金前受金収入	2,595,087	資料費	37,912
実験実習料前受金収入	463,856	雑費	29,571
施設設備資金前受金収入	4,319,646	雑費	29,571
その他の前受金収入	37,307	減価償却額	89,637
その他の収入	3,141,518	借入金等返済	58,320
善後地区地区基金等建設費及び10号館建設費引当金等からの収入	1,000,000	借入金利息	58,320
退職給付引当特定預金からの収入	725,899	資産処分差額	22,180
前期末未収入金収入	1,248,976	予備費	300,000
貸付金回収収入	137,296		
預り金受入収入	14,677	消費支出の部合計	31,697,865
保証金回収収入	14,670	当年度消費支出超過額	7,065,533
資金収入調整勘定	△17,088,195	前年度繰越消費支出超過額	8,118,960
期末未収入金	△1,190,454	翌年度繰越消費支出超過額	15,184,493
前期末前受金	△15,897,741		
前年度繰越支払資金	40,420,436		

消費収入の部		消費支出の部	
科目	17年度予算額	科目	17年度予算額
学生生徒等納付金	25,581,594	諸会費	80,061
授業料	16,700,055	公租公課	299
入学料	2,606,470	報酬・委託・手数料	1,685,864
実験実習料	1,631,489	保守料	592,527
施設設備資金	4,643,580	資料費	695,390
手数料	1,518,036	雑費	152,656
入学検定料	1,469,036	減価償却額	4,564,434
試験料	9,000	管理経費	1,917,071
証明手数料	16,000	消耗品費	53,932
大学入試センター試験実施手数料	24,000	光熱水費	109,908
寄付金	2,076,631	旅費交通費	74,905
特別寄付金	1,500,000	福利厚生費	42,883
第3号基本金運用収入	5,000	通信運搬費	42,460
受取利息・配当金	323,600	印刷費	198,277
施設設備利用収入	71,054	保険料	17,657
資産売却収入	40,000	広告費	174,994
不動産売却収入	40,000	賃借料	35,905
事業収入	616,357	渉外・会議費	35,905
受託事業収入	596,357	賃借料	202,237
知的財産権実施料等収入	20,000		
雑収入	1,083,544	修繕費	64,516
入学要項売上収入	18,300	諸会費	12,375
私立大学退職金財団交付金	835,450	公租公課	135,272
その他の雑収入	229,794	報酬・委託・手数料	501,185
前受金収入	16,298,153	保守料	93,445
授業料前受金収入	8,882,257	資料費	37,912
入学金前受金収入	2,595,087	資料費	37,912
実験実習料前受金収入	463,856	雑費	29,571
施設設備資金前受金収入	4,319,646	雑費	29,571
その他の前受金収入	37,307	減価償却額	89,637
その他の収入	3,141,518	借入金等返済	58,320
善後地区地区基金等建設費及び10号館建設費引当金等からの収入	1,000,000	借入金利息	58,320
退職給付引当特定預金からの収入	725,899	資産処分差額	22,180
前期末未収入金収入	1,248,976	予備費	300,000
貸付金回収収入	137,296		
預り金受入収入	14,677	消費支出の部合計	31,697,865
保証金回収収入	14,670	当年度消費支出超過額	7,065,533
資金収入調整勘定	△17,088,195	前年度繰越消費支出超過額	8,118,960
期末未収入金	△1,190,454	翌年度繰越消費支出超過額	15,184,493
前期末前受金	△15,897,741		
前年度繰越支払資金	40,420,436		

⑨産学連携研究推進事業/基礎工学研究科(継続)

四、右記(三)を文部科学省が行う「学術研究高度化推進事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金(特別補助)を予算措置すること。

五、創立百二十五周年記念事業に充当するため総額五十億円を目標に募集している寄付金のうち、平成十七年度目標額を予算措置すること。

①新五号館建築に係わる建築費等(平成十七年度支)

②九段校舎仮移転に伴う九段校舎改修工事費等

③仮移転用教室に係わる賃借料等(平成十七年度支)

④総合研究所先端材料研究部門(継続)

⑤総合研究所DDS研究部門(継続)

⑥ゲノム創薬研究センター(継続)

⑦再生工学研究センター(継続)

⑧ナノサイエンス・テクノロジー研究センター(継続)



式場を埋めた新入生と父母たち。手前は本学管弦楽団

創造性と人間性を豊かに…と祝辞を述べる塚本桓世理事長

快晴、サクラ満開

平成17年度 入学式



式場への道筋はともサクラ、サクラ…



入学式場の日本武道館前
希望を胸に長万部へ…空港に向かうバス
式場近く、改修工事が始まった九段の新校舎にも祝入学の垂れ幕



わが母校史

豆知識

③

● “中間”の時代

大正四年(一九一五)五月、同窓会が経営する財団法人東京物理学学校が設立された。大正六年三月、専門学校令による設置の認可が行われ、専門学校・東京物理学学校が誕生した。これにより、卒業生は中等教員無試験検定を受ける資格を得た。この状態は第二次世界大戦後、本校が大学となるまで続くことになる。

物理学の授業は主として夜間に行われたが、年を追って入学志望者が増加したため、大正十二年四月からは従来の夜間部に加えて昼間部を設置し二部制となった。

“中間”の時代とも言われる大正時代。第一次世界大戦や関東大震災によって日本の産業と人々の生活が大きく変わり、明治時代の雰囲気が消え、大正十五年(一九二六)十二月二十五日、元号は昭和と変わった。

● 科学振興の波



昭和12年竣工した神楽坂校舎の空中写真

● 動乱期を乗り越えて

昭和初期は本学発展の基礎の時代となる。同窓会報(現在の「理窓」)の発行、本学編纂の教科書など様々な方策が考えられ、その一つが「寺尾文庫」である。初代校長としてその功績が特に顕著だった寺尾寿もに広く産業界にも人材を送らなければならなかった。

本学創立の趣旨は日本の理の普及にあり、それまで「物」の字を配して「物理」の字を配して「物理」の字を象徴した。校旗は、地色の上半分を淡藍色、下半分を赤紫色として「天」として「地」を表した。この当時の校旗は現在、近代科学資料館に展示されている。



昭和12年に制定された校旗
昭和三十年、応

● 戦雲急…敗戦

昭和十年代もなかばころになると、世の中はしいに緊張の度を増してくる。

昭和十六年(一九四一)、太平洋戦争に突入し戦況は激しさを増す。教員の中からも兵役に召集されるものが出るようになり、修業年限も二年半に短縮されるなど、教育が十分に行えない情勢となる。しかし、物理学学校は万難を排して授業を続行する努力をした。こうした時代にあっても、本学が教育を行うことに全力を尽くした当時の模様は、作家・水上勉氏の歌によく表されている。

「勤め終えて市ヶ谷土手を帰れば、物理学校に燈はともりたり」(講談社・昭和万葉集巻6より)

昭和二十年には国の命により無試験入学制度が廃止され、入学試験を実施することになり、志願者全員が入学できる制度がなくなる。また、昭和二十年には神楽坂一帯が戦災を受けたが、本学は学生、教職員懸命な努力により罹災を免れることができた。

戦後、教育制度の変化とともに本学も大きく変わる。専門学校としての東京物理学学校は早晩廃止の運命にあるものの、学校関係者は一丸となって、生きていける限りは最善を尽くさなければならぬと自覚する。それとともに、新しい大学に移るべき準備も必要である。本学は、教育の立て直しとともに校舎拡張の努力を始めることになる。

『東京理科大学百年史』(東京理科大学百年略史)『東京理科大学八十年略史』より抜粋・加筆

*次号は東京理科大学の創立



戦乱、学園に波及…富士裾野で野外教練=昭和17年

昭和十六年(一九四一)、太平洋戦争に突入し戦況は激しさを増す。教員の中からも兵役に召集されるものが出るようになり、修業年限も二年半に短縮されるなど、教育が十分に行えない情勢となる。しかし、物理学学校は万難を排して授業を続行する努力をした。こうした時代にあっても、本学が教育を行うことに全力を尽くした当時の模様は、作家・水上勉氏の歌によく表されている。

求人増、内定率97%

大学院へ進学50% **平成16年度 就職概況**

平成16年度主な就職内定先

()内は学部生の内数 / *博士含む / (株)は省略

学部・専攻	会社名	内定者数
理学	積水ハウス	6(4)
	清水建設	5(0)
	大林組	4(1)
	鹿島建設	4(0)
	埼玉県 さいたま市職員	4(2)
	大和ハウス工業	4(4)
	東京都(都職員)	4(2)
	戸田建設	4(3)
	東日本旅客鉄道(JR東日本)	4(2)
	大林組	3(1)
	北野建設	3(3)
	大成建設	3(1)
	竹中工務店	3(2)
	奥村組	2(1)
	神奈川県(県職員)	2(2)
工学	鉄建建設	2(1)
	前田建設工業	2(2)
	国土交通省	1(0)
	三菱電機	9(3)
	キヤノン	8(1)
	トヨタ自動車	7(1)
	ソニー	6(1)
	東京電力	6(1)
	本田技研工業	6(2)
	三洋電機	5(1)
	日本電気(NEC)	5(0)
	三菱重工業	5(0)
	デンソー	4(1)
	豊田自動織機	4(1)
	日本電産	4(3)
パイオニア	4(4)	
日立製作所	4(0)	
富士通	4(0)	
シャープ	3(1)	
日産自動車	3(1)	
東日本旅客鉄道(JR東日本)	3(1)	
松下電器産業	3(0)	
NTTドコモ	2(0)	
特許庁	2(1)	
日立製作所	6(1)	
日本電気(NEC)	5(3)	
NTTデータ	4(3)	
富士ゼロックス	3(2)	
NTTコミュニケーションズ	2(2)	
KDDI	2(1)	
新日鉄ソリューションズ	2(1)	
セコム	2(2)	
大和総研	2(2)	
日本IBM	2(0)	
日本総合研究所	2(2)	
日本通運	2(1)	
東日本電気(NTT東日本)	2(2)	
日立ソフトウェアエンジニアリング	2(0)	
アクセンチュア	1(1)	
トヨタ自動車	15(7)	
日産自動車	7(1)	
三菱重工業	7(1)	
キヤノン	4(2)	
富士ゼロックス	4(1)	
ブリヂストン	4(2)	
本田技研工業	4(2)	
オリンパス	3(2)	
日立製作所	3(2)	
三洋電機	2(0)	
スズキ	2(2)	
住友重機械工業	2(1)	
豊田自動織機	2(0)	
富士重工業	2(1)	
マツダ	2(0)	
三菱電機	2(0)	
ヤマハ発動機	2(1)	
リコー	2(0)	
東日本旅客鉄道(JR東日本)	1(0)	
防衛庁	1(1)	
日本電気(NEC)	11(5)	
NECソフト	4(3)	
アルファシステムズ	2(2)	
NTTコミュニケーションズ	2(2)	
NTTコムウェア	2(2)	
NTTデータ	2(1)	
西日本電気(NTT西日本)	2(1)	
日立情報システムズ	2(2)	
みずほフィナンシャルグループ	2(2)	
トヨタ自動車	3(0)	
イナックスシステム	2(1)	
シャープ	2(0)	
凸版印刷	2(1)	
三菱製鋼	2(2)	
旭化成	1(0)	
キヤノン	1(0)	
九州旅客鉄道(JR九州)	1(0)	
住友金属鉱山	1(0)	
東海旅客鉄道(JR東海)	1(0)	
東芝セラミックス	1(0)	
東陶機器(TOTO)	1(0)	
日立化成工業	1(0)	
ソフトバンクBB	3(3)	
東京三菱銀行	3(3)	
国税庁 東京国税局	2(2)	
国民生活金融公庫	2(2)	
東京海上日動火災保険	2(2)	
日本生命保険	2(2)	
みずほインベスターズ証券	2(2)	
アクセンチュア	1(1)	
SMBCフレンド証券	1(1)	
NTTドコモ	1(0)	
カネボウ	1(1)	
キュービー	1(1)	
全日本空輸(ANA)	1(1)	
電通	1(1)	
東日本旅客鉄道(JR東日本)	1(1)	
富士通	1(1)	

平成16年度の就職状況 求人増を反映し雇用情勢は職環境の基調は相変わらず是中長期的発展のために個別強化によるコア人材を厳格に選別して採用しているが、就職内定率は九七・二% (三月十日現在) となっている。企業別に能力や資質を問う、選別採用する傾向に変化は無い。この様な状況下、就職内定率は九七・二% (三月十日現在) となっている。

これは、「基礎学力」とも高度な専門教育を充分身に付け、堅実な実力や社会人としてのキャリアを備えている」と社会から高く評価されていることの現れである。

教員採用状況は、団塊世代の大量退職や少人数教育などにより需要が増加し、公立・私立学校教員採用試験に七十八人が合格した。

1、公務員・教員ガイダンス、企業研究セミナー、インターンシップ、各種試験対策講座、就職マナー・面接講習会など様々なキャリア支援プログラムを実施している。学生の皆さんは、積極的に参加してほしい。また、就職活動における悩みの相談やエントリーシート・履歴書の添削なども受け付けているので、気軽に立ち寄りてほしい。



桜花よりひと足早く笑顔満開の卒業生たち

しなやかに、たくましく

平成16年度学位記・修了証書授与式

平成16年度の学位記・修了証書授与式が、卒業生の新しい門出を祝うかのような素晴らしい晴天となった三月十九日、東京・九段の日本武道館で挙行政された。四千九百九十人の卒業生は、大いに希望と夢を抱いて、それぞれの進路に羽ばたいていった。

岡村学長からは「文化と文明のバランスのとれた共存に心を配っていただきたい。皆さんひとりひとりの、二十世紀を拓くことにふさわし

平成16年度卒業・修了生数一覧 (平成17年 3月19日)

学部	学 科	卒業生数	専攻	修士	博士課程
理 一	数 学 科	95	数 学 専 攻	31	1
	物 理 学 科	111	物 理 学 専 攻	59	8
	化 学 科	105	化 学 専 攻	107	3
	応 用 数 学 科	90	理 数 教 育 専 攻	16	—
	応 用 物 理 学 科	105	計	213	12
	応 用 化 学 科	132	建 築 学 専 攻	34	0
	計	638	工 業 化 学 専 攻	46	1
	数 学 科	159	電 気 工 学 専 攻	62	0
	物 理 学 科	137	経 営 工 学 専 攻	28	2
	化 学 科	183	機 械 工 学 専 攻	42	1
計	479	計	212	4	
理 二	建 築 学 科	100	薬 学 専 攻	59	3
	工 業 化 学 科	125	計	59	3
	電 気 工 学 科	97	数 学 専 攻	9	0
	経 営 工 学 科	99	物 理 学 専 攻	34	0
	機 械 工 学 科	89	情 報 科 学 専 攻	31	0
	計	510	応 用 生 物 科 学 専 攻	61	9
	建 築 学 科	85	建 築 学 専 攻	53	0
	電 気 工 学 科	67	工 業 化 学 専 攻	82	4
	経 営 工 学 科	64	電 気 工 学 専 攻	72	0
	計	216	経 営 工 学 専 攻	38	0
工 一	薬 学 科	83	機 械 工 学 専 攻	55	0
	製 薬 学 科	95	土 木 工 学 専 攻	18	2
	計	178	計	453	15
	数 学 科	108	電 子 応 用 工 学 専 攻	53	1
	物 理 学 科	119	材 料 工 学 専 攻	47	1
	情 報 科 学 科	101	生 物 工 学 専 攻	51	4
	計	151	計	151	6
	建 築 学 科	132	生 命 科 学 専 攻	13	3
	工 業 化 学 科	150	計	13	3
	電 気 工 学 科	161	経 営 学 専 攻	10	—
経 営 工 学 科	128	計	10	—	
機 械 工 学 科	138	総 合 科 学 技 術 経 営 専 攻	10	—	
土 木 工 学 科	103	計	10	—	
計	1,229	研 究 科 合 計	1,121	43	
基 礎 工	電 子 応 用 工 学 科	※ 104	専 攻 科 専 攻	27	—
	材 料 工 学 科	99	理 学 専 攻 科 数 学 専 攻	27	—
	生 物 工 学 科	88	専 攻 科 合 計	27	—
	計	※ 291	学 部	3,806	—
	経 営 学 科	265	修 士	1,121	—
	計	265	博 士 (課 程)	43	—
	計	※ 3,806	専 攻 科	27	—
	学 部 合 計	※ 3,806	大 学 合 計	4,997	—

※平成16年9月30日付卒業生、修了生含む。



式場前、和服の男子も

巣立ちの春、記念ショット

平成17年度 入学式

4月6日(水)に諏訪東京理科大学第4回目の入学式が挙行された=写真。本年度入学生は、システム工学部電子システム工学科97人、機械システムデザイン工学科97人、経営情報学部経営情報学科124人の計318人であった。



完成年度 スタート

新入生諸君へ 学長 重倉 祐光

新入生諸君、入学おめでとう。諸君はめでたく本学の第四期生として入学されたのであります。諸君の入学によって、本学はますますの学年に学生が在籍することになり、完成年度を迎えることになりました。本学は、他学に見えない、経営と工学の融合教育という高邁な教育目標を掲げて発足しましたが、今年には第一期生がいよいよ社会に旅立ち、この教育の成果を世に問うことになりました。この教育の実践に当る道筋は、きわめて複雑なものがありますが、各教員はファカルティ・ディベロップメントを重ね、更に高い教育効果を目指してまいります。

科学技術の発展は目を見張るものがありますが、近頃では、特に、情報通信技術の分野で、未知の分野であったものが、急速に発展を遂げ、多くの友人を作り、スポーツで体を鍛えるなど、有意義な青春を過ごしていただきたいと思っております。

このような折には、従来より更に高い教育レベルの人材が求められるようになってまいりました。基礎学力

諏訪東京理科大学 News

〒391-0292 長野県茅野市豊平五〇〇〇一
☎0266731201(代表)
http://www.suwa.tus.ac.jp

平成17年度 入学式

桜満開の中、平成17年度入学式が4月10日(日)に山陽小野田市民館で開催された=写真。当日は基礎工学部電子・情報工学科91人、物質・環境工学科93人(編入学生2人を含む)、大学院修士課程14人、博士後期課程1人、計199人の新入生を迎え、多数のご父母も参加され盛大に行われた。



自らのキャリアデザインを描けるように

新入生諸君へ 学長 土谷 敏雄

難関を突破され自分の希望を満たし、入学された新入生の皆さんおめでとうございませう。若い力は、今後どのような困難が待ち受けていても必ず解決の手段が見出せるでしょう。さて、産業社会は歴史的な転換が起り、工業社会から知識社会に移行し、知識が最も重要な資源の社会が到来しました。知識創造の担い手は個人であり、継続的で多様な学習の重要性が強くなって、生涯学習社会がやってきたことです。

さらに、大学に要求されているのは、自ら考え判断し、意思決定を行う人材が非常に重要となる時代が到来し、自立型人材が求められるようになってきました。このことは、大学において、これから「自分探しの旅」を続けられる新入生の皆さんに「自分を生かす」、「自分を

期待を背に113人巣立ち 平成16年度 学位記授与式

就職内定率は過去最高だった。昨年の九七・二%を、さらに上回る九八・五%を達成した。学部卒業生百六十七人に対して、本学に寄せられた求人企業総数は千三百四十四社であった。公共職業安定所の十二月有効求人倍率〇・八三倍に対して、

山口東京理科大学 News

〒756-0884 山口県山陽小野田市大通一〇一
☎0836883500(代表)
http://www.yama.tus.ac.jp

◆ 協定大学と実施学部 ◆

諏訪東京理科大学	茅野市	共通教育センター、システム工学部、経営情報学部
信州大学	松本市	高等教育システムセンター、人文学部、教育学部、経済学部、理学部、医学部、工学部、農学部、繊維学部
清泉女学院大学	長野市	人間学部
長野県看護大学	長野市	看護学部
長野大学	上田市	産業社会学部、社会福祉学部
松本歯科大学	塩尻市	歯学部
松本大学	松本市	総合経営学部

今年も「出前授業」 本学生涯学習センターでは、今年度も「出前授業」を実施する。これは、要請に応じて本学の教員が、出向いて本学の会場に授業を行うものである。講座は生涯学習向けに構成し、配布を開始している。

県内6大学と単位互換協定

一月二十八日、本学は、長野県内の六つの大学と単位互換の協定を結んだ。この協定は、県内七大学による

前年上回り内定 98.5%

就職内定率は過去最高だった。昨年の九七・二%を、さらに上回る九八・五%を達成した。学部卒業生百六十七人に対して、本学に寄せられた求人企業総数は千三百四十四社であった。公共職業安定所の十二月有効求人倍率〇・八三倍に対して、

山陽小野田市の広報誌で本学を紹介 http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/kouhou/mj/kouhou.htm

60年ぶり正式卒業証書

—仮証書はワラ半紙ガリ版刷りだった—

晴ればれ…丸山博衛さん

昭和二十年九月に東京理科大学本理学部第二部を卒業した丸山博衛さん(八十一歳)に二月二十八日、六十年ぶりに正式の卒業証書が岡村学長から授与された。

終戦直後の窮乏時代、正式には後日発行するという



岡村学長(左)、塚本理事長(中)と共に喜びの丸山さん

昭和二十年九月に東京理科大学本理学部第二部を卒業した丸山博衛さん(八十一歳)に二月二十八日、六十年ぶりに正式の卒業証書が岡村学長から授与された。

終戦直後の窮乏時代、正式には後日発行するという

本学では、正式の卒業証書を授与されていない方には、今回と同様に発行します。詳細は左記までお問い合わせください。

*広報課：03-5228-8107
koho@admin.tus.ac.jp

経営チーム、大学部門賞

2年連続受賞

日経STOCKリーグ



「第五回日経STOCKリーグ」で、本学経営学部チームが大学部門賞を受賞

日本経済新聞社主催、日経STOCKリーグで、本学経営学部チームが大学部門賞を受賞し、昨年の敢闘賞に続き二年連続の受賞となった。

同リーグは中学生・高校生・大学生を対象にした「自主テーマによるポートフォリオ学習」及び「レポートコンテスト」。文部科学省、金融庁、日本証券業協会、東京証券取引所等が後援して、金融教育活動の一環として毎年開催される。

今年受賞した論文は経営学部の吉川美佐子さん、渡邊恭子さん、竹内秀彦さん、尾山健一さん、尾山健二さんによる『株式会社Arrowの投資家募集』。

同レポートへのアクセス先は次のとおり。
<http://manabowl.mana-how.com/result/5.pdf>
#500352.pdf

受賞したレポートにおける投資戦略は、毎月、株式ポートフォリオを組み替えることと、どのような財務指標の組み合わせに基づいてそれを行うのが最適であるのかを、全上場企業の株価データから明らかにしている。興味深いことに、この戦略による投資のパフォーマンスは、代表的な証券会社が提供する投資信託の最高パフォーマンスと比較しても劣らないばかりか、ほとんどの場合を上回るものになっている。

専門的にも、この研究は株価の予想可能性の問題と関係して、意義深い内容となっている。

初歌舞伎鑑賞教室 盛況

今年も相づいで開催します



勸進帳の松本幸四郎—セミナーポスターから

昨年十二月十七日、二十一日の二日間、二村基金セミナーは本学の卒業生である故二村富久(二村化学工業(株)創業者)の「歌舞伎鑑賞教室」(演目「勸進帳」)出演者：松本幸四郎、学ぶことに役立ててほしい市川染五郎他(会場：国立劇場)鑑賞費：無料)を開いた株式の配当益の一部で開催している。今回の鑑賞教室は、

①日時：6月21日(火) 19時～21時「毛抜」(歌舞伎十八番の内)

②日時：7月4日(月) 14時30分～17時「義経千本桜」

各日程とも鑑賞費は無料、先着百人ずつ。本学学生対象。申込みはインターネットから。

*後期も歌舞伎、文楽の鑑賞教室、講演会等を催す予定ですが、詳細は学内掲示物等で随時告知します。

問合せ先は次のとおり。
◇東京理科大学生涯学習センター 03-3226-7946 / URL <http://www.tus.ac.jp/>

室では両日とも五百五十人の学生が参加し、大変好評であった。

本年度も次のとおり開催する予定。
①日時：6月21日(火) 19時～21時「毛抜」(歌舞伎十八番の内)

②日時：7月4日(月) 14時30分～17時「義経千本桜」

各日程とも鑑賞費は無料、先着百人ずつ。本学学生対象。申込みはインターネットから。

*後期も歌舞伎、文楽の鑑賞教室、講演会等を催す予定ですが、詳細は学内掲示物等で随時告知します。

問合せ先は次のとおり。
◇東京理科大学生涯学習センター 03-3226-7946 / URL <http://www.tus.ac.jp/>

9高校参加、ジュニア・セッション

～日本物理学会 世界物理年記念イベント～



セッション後に行われた授賞式

人程度で約二百五十人が参加した。

また、同キャンパス内の「森戸記念体育館」ではポスターセッションが開催され、約二十高校がポスター掲示を行った。セッション終了後は市民講演会が行われ、「物理を遊び、味わおう」の講演や「おもしろ実験が行われ、小中学生が多数参加した。」

◇セッション参加校

▽慶應義塾志木高/テーマ：減衰振動▽山口県立岩国高/テーマ：直流リニアモーターカーの走行における物理的考察▽立命館高/水によってタイル間に生じる力(光触媒を使うとつくつく力は強くなる)▽北海道札幌北高/テーマ：偏光板によるゼロファン現象の発色

▽青森県立青森高/テーマ：青森県のヤマセについて▽早稲田大学本庄高/テーマ：リファクターの研究▽岐阜県立岐阜高/テーマ：パラフィンブロックにおける電波の全反射についての考察▽島根県立松江東高/テーマ：音波による気柱内振動実験▽北海道南茅部高/テーマ：偏光板と赤リプロビレンによる着色現象に関する考察

都立蔵前工業高と高大連携

協定調印、出前授業など推進

三月七日(月)、東京都庁第二本庁舎三十一階特別会議室で、都立蔵前工業高校と本学との間で高大連携協定に調印された。調印式には、蔵前教育庁次長ら関係者の立会いのもと、本学から岡村学長、蔵前工業高校から野上校長らが出席した。同校は、理工系大学への進学者を育成する工業高校様々に協定を締結した。

期生で工学部として卒業した先輩の手により、一先号館と連河と煙の中でアーチェリーサークルが産声をあげた。その後、東京理科大学体育会加入、関東アーチェリー連盟準加盟、正式加盟として次第にクラブとしての形ができた。一九七七年には、神九七二年卒業、ホンダ技術研究所)は、この四月から中国上海のホンダ工場へ赴任する予定。今後とも京理科大学I部体育局洋弓部をよりよくお願い致します。

洋弓新射場 完成

I部体育局洋弓部顧問/理工学部教授 伊藤 稔



銀メダリスト山本博選手(前列左から5人目)と共に洋弓部一同



模範試射を披露する山本選手

二月二十日に洋弓部の新射場完成記念式(野田キャンパス)が行われました。二〇〇四年夏のアテネオリピックのアーチェリーで銀メダルを獲得した山本博選手(現：大宮開成高校教諭)をお招きして、新射場のこけら落としを行いました。

東京理科大学洋弓部は来年度四十周年を迎えます。一九六六年に神楽坂の工学部が移転し、理工学部が発足(一九六七)する前年度に小川徹(理工学部0

期生で工学部として卒業した先輩の手により、一先号館と連河と煙の中でアーチェリーサークルが産声をあげた。その後、東京理科大学体育会加入、関東アーチェリー連盟準加盟、正式加盟として次第にクラブとしての形ができた。一九七七年には、神九七二年卒業、ホンダ技術研究所)は、この四月から中国上海のホンダ工場へ赴任する予定。今後とも京理科大学I部体育局洋弓部をよりよくお願い致します。



武田双雲さんの書「光」

サーフィンの若者たちで賑わう湘南辻堂(神奈川県藤沢市)に双雲さんの「書」のアトリエがある。

庭先の木の間に落ちる雨が静寂を呼び、築百年にもなる木造平屋の広い廊下を渡って差し込むくもった光が、障子とワスマにはねかえって、部屋はやわらかい陰影に包まれている。

こうしたこだわりの古さの中で生活する双雲さんは、豊かな感性と、しなやかな頭脳、そして楽天的なハートを持って、「書」を友とし、愛して、それを天職とする。しかも東京理科大学で情報科学を学んだだけに、インターネットやメディアといった最先端ツールを巧みに使い、独自の「書」の世界を切り拓く元気な二十代である。

双雲さんはめっちゃめっちゃに明るい「おたく」を自認する。情報科学科に入ったのは、友達

が「今一番、格好いいのがコンピュータ」という言葉につられて専攻した。だがコンピュータの仕組みなどには興味はなく、それを用いていかに楽しむか意味があった。「人生を楽しく生きる」がモットーで、大学ではテニスと麻雀に夢中になった。退屈な授業



流派のワクを超え活躍中「楽しい書」のリーダー

武田 双雲さん

理大

も楽しくしたいと先生の物まねをして周囲を笑わせた。

「言葉」という言葉が、双雲さんは好きだ。言葉が文字に置き換えられ、人間の美意識と融合し「書」ができた。単なる白黒の線にすぎない「書」が感動を呼ぶのはそのためだ。また人間は美を追い求める生き物だから、きれいな字が好きだとも語る。既存のいかなる流派にも属さず、自分の感性だけを頼りに書き進んできた。

だが、母の双葉さんの存在だけはとてつもなく大きかった。母は各新聞社の書道展で様々な賞を獲得した熊本市在住の書道家で、パフォーミング書道などで活動の場を広げてきた。その母に三歳から強制的に書道をやらされた。だが嫌になることはなく、先生が黒板に書く字、女の子の丸文字、友達の下手な字を真似して楽しみにした。双雲さんには、字は心の玩具であり、人格形成の核となった。名刺、ロゴ、表紙などのデザインもこなす。和太鼓やロックのリズムに乗って、豪快に揮毫もする。アトリエには生徒百二十人が東京方面から通ってくる。京都からの人、九州から引越してきた人もいる。九割が女性。芸術家から社長さんまで、多彩な双雲さんにならび、生徒たちもまた多彩である。

★略歴 (たけだ・そううん) 本名・武田大智、1975年生まれ。熊本市出身。98年3月、理工学部情報科学科卒。NTTに入り2年半で退社、書道家になる。愛知万博テーマ館「自然の叡智」の六つのブースの題字を手掛ける。著書に『「書」を書く愉しみ』(光文社新書)がある。



最高の1年...第18期298人退寮式

基礎工學部長万部校舎では二月二十日、第十八回退寮式が行われ、二年生、一年生、次期寮生を修了した二百九十八人が長万部寮を退寮した。恩田長万部寮長は、式辞で「二年次からの専門課程では、長万部での学寮生活と自然から学んだ事柄を糧として、斬新で独創的な発想を生み出すための芽を、大切に育てて下さい」と述べた。

長万部

また、長谷部君は「山と海が一望でき、日が差しながら雪が降り、霧が晴れたら虹がかかる、ここ長万部の一年間は最高に楽しい一年間でした。私たちが支えてくれた皆さまには、心からお礼を申し上げます」と続けた。

このあと学生は、新二年生として、この四月から野田校舎における専門課程に進んだ。

キャンパスだより

平成16年度学長表彰



岡村学長(前列左から2人目)とともに晴れの受賞者

平成十六年度の学長表彰式が三月十六日、1号館17階の記念講堂で行われた。式には、学長、各学部長をはじめ教職員四十六人、受賞者を含む学生百二十人が参加し、学長賞に一団体と個人二人、学生部長賞に四団体と個人三人が表彰された。式終了後の懇親会では、受賞した学生たちが大会成績について報告を行い、今後の抱負を語った。また、肩を組んで校歌を歌い、先生らも交えて和やかに懇談した。

学長賞

Table with 2 columns: 受賞団体・個人 and 主な成績・記録. Lists award recipients like 1部体育局硬式野球部 and 遠藤 晃.

学生部長賞

Table with 2 columns: 受賞団体・個人 and 主な成績・記録. Lists award recipients like 1部体育局アイスホッケー部 and 大島 康宏.

功労賞

Table with 2 columns: 受賞団体・個人 and 主な成績・記録. Lists award recipients like 1部体育局サッカー部 and 理大祭実行委員会.

特別奨励賞

Table with 2 columns: 受賞団体・個人 and 主な成績・記録. Lists 清水 祐介.

奨励賞

Table with 2 columns: 受賞団体・個人 and 主な成績・記録. Lists 早川 賢雄 and 豊嶋 希春.

学長賞・学生部長賞 5団体と5人に

理大茶 新発売

りかえもんでござる



創立百二十五周年を記念して理科大学オリジナル商品の第四弾となる「緑茶」りかえもんでござるが発売されました。写真。深蒸し茶をブレンドし、すっきりとした中にも深みのある味わいです。一本100円。学生食堂で見つけてください！

小玉記念科学賞

平成16年度 35人が受賞

平成十六年度小玉記念科学賞が学業研究に極めて優秀な成績を修めた者に贈る賞で、卒業生のうち各学科から推薦された者に授与され、本年度の受賞者は次のとおり。

- 理学部(理一) 数学・佐藤陽春/物理・安藤雅文/化学・小宮山友理/応数・柳川準一/応物・小池邦昭/応化・熊谷和博

ご意見・ご感想をお待ちしています!

宛先 千原新館区神楽坂から東京理科大学広報課 [FAX] 03-3260-5823 [E-mail] koho@admin.tus.ac.jp